

栄養コンディション評価 微量血液検査キット

- 微量血液で血液自己測定
- 検査キット（2パターン）
 - フルパッケージ(22項目)
 - クリティカルセット(7項目)
- 栄養コンディション評価結果レポート

QRコードから採血手順の動画も併せてご確認ください→



aiwell care

はじめに

- ①採血キットを開け、内容物を確認してください。
- ②申込用紙、質問表に必要事項を記入して下さい。
- ③表の注意事項、下記採血手順を読み採血を始めて下さい。

採血手順

1 お湯でよく手を洗います



2 採血準備

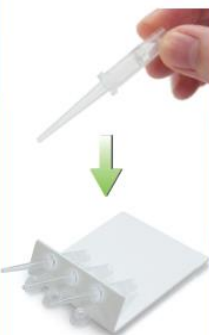
- ①ノズル付き採血管 ②出血用ランセット
③絆創膏 ④消毒綿
- ①アルミ袋から出しておきます。
 - ②先端を回してキャップを外します。
 - ③すぐに貼れるように準備をします。
 - ④開封し袋から出しておきます。

採血の実施

血液は採血管3本必要です。No.8「血液の吸い上げ」を3回実施して下さい。

3 採血管を3本スタンドにセット

採血管3本を袋から出し、採血管スタンドの穴に入れて採血の準備をして下さい。



重要
血液は採血管3本必要です。

4 指先のマッサージ



利き手の反対の手首から指先へ向けてよくマッサージして下さい。指先が冷たい場合は暖めて下さい。

※血流が良くなると指先が赤っぽく変色するのが目安です。

5 指先の消毒



採血する指先を消毒綿でよく拭きます。消毒後は、血液と混ざらないように指先をよく乾かして下さい。

※一般的には中指が採血しやすいです。

重要
必ず利き手の反対の指から採血を行って下さい。

6 ランセットで出血



採血補助シートを敷き、血液が落ちた場合汚れないようにシートの上でランセットをあて、強く押します。

指先をテーブルなどにしっかりと固定して下さい。指先と指の腹の間にランセットをあて、強く押します。

カチッと音がしたらランセットを離します。

※うまく出血しない時は、違う指で準備のランセットをお使いください。

7 血液の絞り出しと血液を採血管へ送る



利き手で、出血した指の上下を挟みながら、指の付け根から先端の方向へ押し出す要領で指の先に血液を溜めます。



出血したら採血管ノズルの穴に血液つけて下さい。採血管に血液が流れていきます。

採血管は3本必要です。3本すべてに血液を入れてください。

8 血液を採血管3本へ吸い上げる

1本目



採血している指の第一関節辺りを押し出すようにマッサージすると血液の出が良くなります。

2本目



3本目



9 採血量の確認

採血量にご注意下さい!
採血ノズル一杯に採血をお願い致します。



画像の赤い→位置まで採血して下さい。

※採血量が規定量より少ないと、検査結果をお返しできない場合がございます。

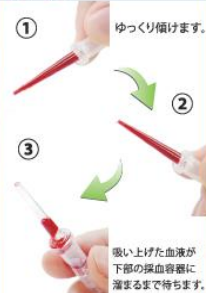
10 絆創膏を貼る



新しい消毒綿で再度、採血口を消毒し出血部分の血液をよく拭き取り、絆創膏を貼って下さい。

絆創膏は2枚入っていますので、止血しづらい場合や交換の際にお使い下さい。

11 採血管へ血液を移動



ノズル内に血液が残っている時は、テーブルの上でトントンと軽く叩き、採血管へ血液を入れるようにして下さい。

12 採血管にキャップをする



採血管のキャップを確実に、しっかりと閉めて下さい。血液の漏れがないかご確認ください。

※採血ノズル、採血管は予告なくデザインが変わる場合がございます。予めご了承下さい。

血液の保存準備

血液の保存

13 採血管を振る

採血管の上下を指で挟み、図のように強く5~6回ほど上下に振って下さい。



振った後、血液検体袋に入れキット・トレー内に収納して下さい。

内容



一般社団法人
日本栄養コンシェルジュ協会
 JAPAN ASSOCIATION OF CONCIERGE OF NUTRITION

採血の前に検査器具の名称と用途をご確認ください。
 ※裏面に準備、採血手順の説明がございます。

検査キットは人体に使うことを考慮しフタが簡単に開かないように設計され、しっかりと閉まっています。底部フラップを横に開き、抑えながらフタを開くと簡単に開きます。

セット内容

- ・検査キット一式
- ・申込用紙(控付き)
- ・取扱説明書(本紙)
- ・質問票
- ・返信用封筒
- ・採血補助シート
- ・血液の発送方法
- ・採血管用袋
- ・廃棄袋
- ・採血管スタンド

①ノズル付き採血管

出血させた指先の血液をノズルから吸い取り、下部の採血管に血液を保存する専用です。付属のキャップで密閉し検査所へお送り下さい。(予備含め2本)



③絆創膏(2枚入り)

止血用の絆創膏です。

②出血用ランセット

出血させるための器具です。フタを回して指先にあて押し込み出血をさせます。(予備含め2本)

④消毒綿(2枚入り)

ランセットで出血させる前の消毒にお使い下さい。採血管に血液を保存後、絆創膏を貼る前に新しい消毒綿で血液を拭き取り消毒して下さい。

パッケージ、デザイン等、予告なく変更する場合がございます。予めご了承下さい。

注意点

- ・ **12時間以内**に発送手続きをお願いします。
- ・ 採血後は採血管を**30秒程度**よく振ってから、**冷蔵庫**にて保管をお願いします。
- ・ **記入用紙**への記入をお願いします。**担当栄養コンシェルジュの情報**も漏れなく記入をお願いします。
- ・ 採血が上手くできなかった場合は日本栄養コンシェルジュ協会 (info@nutrition-concierge.com) までご連絡ください。採血管及び自己採血針を有償にて送付させていただきます。



返送の流れ

①集荷依頼

- 集荷専用電話番号**0800-0800-111**(固定電話・携帯電話ともに無料)にて**事前**にお申し込みくださいますようお願い致します。
- 伝票は同封されている伝票をお使いください。
- **返送料金はご自身でご負担ください。**



②梱包

- 6月～10月の期間は**チルドゆうパック**を、
11月～5月の期間は通常ゆうパックをご利用ください。
- 採血管・使用・未使用のランセットを入れた商品ケースごとを
申込用紙、記入用紙と一緒に梱包してください。



※採血に使用/未使用のランセット、採血ノズルは一般家庭での廃棄ができません。

※検査結果は血液集荷から約2週間後にメールにて送付いたします。

各キットの検査項目

フルパッケージ

	検査項目	略語
1	血清鉄	Fe
2	フェリチン	FER
3	アスパラギン酸アミノ基転移酵素	AST(GOT)
4	アラニンアミノ基転移酵素	ALT(GPT)
5	γグルタミルトランスペプチダーゼ	GGT(γGTP)
6	コリンエステラーゼ	ChE
7	クレアチンキナーゼ	CK(CPK)
8	尿酸	UA
9	ヘモグロビンA1c	HbA1c
10	総蛋白	TP
11	LDLコレステロール	LDL
12	HDLコレステロール	HDL
13	中性脂肪	TG
14	アルブミン	ALB
15	推算GFRcreat	eGFR
16	アミラーゼ	AMY
17	赤血球	RBC
18	ヘモグロビン	HGB
19	ヘマトクリット値	HCT
20	平均赤血球数容積	MCV
21	平均赤血球ヘモグロビン量	MCH
22	平均赤血球ヘモグロビン濃度	MCHC

クリティカルセット

	検査項目	略語
1	アラニンアミノ基転移酵素	ALT(GPT)
2	γグルタミルトランスペプチダーゼ	GGT(γGTP)
3	コリンエステラーゼ	ChE
4	尿酸	UA
5	中性脂肪	TG
6	アルブミン	ALB
7	推算GFRcreat	eGFR

例

- 年に2回フルパッケージでトータル栄養コンディション評価
- 2カ月に1回クリティカルセットで定期確認

結果レポート

どの検査キットでも3種のレポートをお届け！

一般的な結果レポート

検査結果一覧		検査結果をまとめた項目は項目マークが付きまします。			
項目	検査項目	項目の説明	基準範囲	検査結果	単位
メタボ	ヘモグロビンA1c	糖尿病の診断・経過判定に用いられる検査項目です。	5.6%	5.3	%
	LDLコレステロール	脂質代謝に関する項目です。年齢・性別・喫煙状態により異なります。	160~208		mg/dL
	HDLコレステロール	脂質代謝に関する項目です。高コレステロール血症により低下します。	60~119	136	mg/dL
	HDLコレステロール/HDL-HDL比	脂質代謝に関する項目です。高コレステロール血症により低下します。	400.1	100	mg/dL
肝機能	AST(アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)	肝臓の機能に関する項目です。肝臓の障害により上昇します。	0~37	0	U/L
	ALT(アラニンアミノトランスフェラーゼ)	肝臓の機能に関する項目です。肝臓の障害により上昇します。	0~37	11	U/L
	γ-GTP(γ-グルタミルトランスピペターゼ)	肝臓の機能に関する項目です。肝臓の障害により上昇します。	0~50	26	U/L
	ALP(アルカリホスファターゼ)	肝臓の機能に関する項目です。肝臓の障害により上昇します。	40~100	76	U/L
腎機能	クレアチニン	腎臓の機能に関する項目です。腎臓の障害により上昇します。	0.6~1.2	0.72	mg/dL
	BUN(尿素窒素)	腎臓の機能に関する項目です。腎臓の障害により上昇します。	7~20	4.8	mg/dL
	eGFR(糸球体濾過率)	腎臓の機能に関する項目です。腎臓の障害により低下します。	90~120	80	ml/min/1.73m ²
	尿酸	尿酸代謝に関する項目です。尿酸過多により上昇します。	2.3~7.8	4.7	mg/dL
貧血	ヘモグロビン	赤血球の量に関する項目です。貧血の診断に用いられます。	12~16	16.2	g/dL
	ヘマトクリット	赤血球の容積に関する項目です。貧血の診断に用いられます。	38~48	46.9	%
	平均赤血球容積	赤血球の容積に関する項目です。貧血の診断に用いられます。	84~102	92.3	fL
	平均赤血球ヘモグロビン量	赤血球の容積に関する項目です。貧血の診断に用いられます。	27~34	31.9	pg

7項目での簡易レポート

2019年6月7日 採血データ

氏名: 栄養 太郎 性別: 男性 年齢: 40

栄養コンディション評価

総合判定 (今回) **B**

糖・脂質摂取 58 (理想値)

嗜好品摂取 30

脂肪燃焼 17

飲酒・おつまみ 23

栄養による肝臓負担 2

栄養による腎臓負担 23

判定: **AA**

糖・脂質摂取: 基準値範囲内です。脂質を多く含む食品や糖質に変わりやすい食品、つまりカテゴリー 2, 4, 5, 6, 7 の摂取量・頻度を減らしましょう。今以上に増えないようにして、AAA判定を目指しましょう。

嗜好品摂取: 基準値範囲内ですが上限値に近いです。砂糖や果糖またはアルコールを多く含む食品、つまりカテゴリー 6, 7 の摂取量・頻度を減らしましょう。今よりこれらのカテゴリーの摂取量・頻度を減らすことで、AA判定以上を目指しましょう。

脂肪燃焼: 上限値を超えています。習慣的な糖質または糖質、アルコールを多く含む食品の過食、つまりカテゴリー 1, 2, 4, 5, 6, 7 の過食が考えられます。これらのカテゴリーの摂取量・頻度を減らすことはB判定を目指しましょう。

飲酒・おつまみ: 基準値範囲内です。今の食事を継続して、AAA判定を継続しましょう。

栄養による肝臓負担: 基準値範囲内です。今の食事を継続して、AAA判定を継続しましょう。

栄養による腎臓負担: 下限値を超えています。たんぱく質を多く含む食品の過食、つまりカテゴリー 2, 4 の過食による腎機能低下が考えられます。これらのカテゴリーの摂取量・頻度を減らして、A判定を目指しましょう。また、塩分の過剰摂取も控えましょう。ただし、アスリートなどで前用量が多い場合は底へ出るため詳細は栄養士が必須です。

栄養状態: 基準値範囲内です。今の食事を継続して、AAA判定を継続しましょう。

<結果の見方>
A, AA, AAA... 関連項目は全て基準範囲内です(A<AA<AAAの順に理想的状態に近づきます)。B... 関連項目に要注意が含まれます。C... 関連項目に異常値が含まれます。

<関連項目>
糖・脂質摂取(コリンエステラーゼ)、嗜好品摂取(γ-GTP)、脂肪燃焼(中性脂肪)、飲酒・おつまみ(尿酸)、栄養による肝臓負担(ALT)、栄養による腎臓負担(eGFR)、栄養状態(アルブミン)

検査結果に対してのコメントは、医師らびに管理栄養士のアドバイスおよび栄養文庫に基づいたものですが、データ書籍などのアップデートにより最新結果情報が変わる場合があります。また検査結果はそのデータ上の性質上、100%の精度を確保できないことをご了承下さいませ。本検査は診断を目的としたものではありません。基準範囲は公益社団法人日本栄養コンセルジュ協会および国立がんセンターの値を参考にしています。

特許申請システム ヘルスリスクアセスメントレポート

EWP ヘルス リスク アセスメント
Employee Wellness Program

病気になる前から違い！
EWPは「正常値」に陥りリスクを分析します。

栄養 太郎 様

検査項目数 27

全検査項目の平均リスク値 **23**

リスク値レーダー図

肝臓 58

腎臓 30

血管 17

肥満 23

筋肉 2

膵臓 23

あなたのヘルスリスクタイプは **肝腎要なウサギ**

ヘルスリスク **Lv.26**

項目別	リスク詳細	検査値 (単位)	【参考】正常値	リスク値	0	20	40	60	80	100
身体測定	BMI	22.3	18.5~24.9	18	0	0	0	0	0	0
	SMI	19.7	120以下	0	0	0	0	0	0	0
	体脂肪率	10.4	8以下	0	0	0	0	0	0	0
血圧	収縮圧	64	90~120	0	0	0	0	0	0	0
	拡張圧	44	60~80	0	0	0	0	0	0	0
	脈圧	20	30~40	0	0	0	0	0	0	0
血液一般	白血球数	5.4 100/μL	4.0~8.0	17	0	0	0	0	0	0
	赤血球数	465 100/μL	男:410~530, 女:380~480	17	0	0	0	0	0	0
	ヘマトクリット	42.6 %	男:40~49, 女:36~45	55	0	0	0	0	0	0
糖代謝	血糖値	112 mg/dL	80~120	10	0	0	0	0	0	0
	HbA1c	5.7 %	6.2未満	51	0	0	0	0	0	0
	尿酸	4.7 mg/dL	男:6.8~8.4, 女:5.0~6.8	48	0	0	0	0	0	0
脂質代謝	中性脂肪	79 mg/dL	50~150	0	0	0	0	0	0	0
	HDL	77 mg/dL	35~75	92	0	0	0	0	0	0
	LDL	137 mg/dL	70~140	92	0	0	0	0	0	0
肝機能	AST(GOT)	27 U/L	0~37	0	0	0	0	0	0	0
	ALT(GPT)	16 U/L	男:0~42, 女:16~27	0	0	0	0	0	0	0
	γ-GTP	40 U/L	男:0~50, 女:0~30	64	0	0	0	0	0	0
尿	血清アルブミン	4.8 g/dL	3.7~4.9	0	0	0	0	0	0	0
	尿酸	12 mg/dL	8~20	0	0	0	0	0	0	0
	クレアチニン	1 mg/dL	男:0.8~1.3, 女:0.7~1.0	0	0	0	0	0	0	0
腎機能	尿素窒素	4.8 mg/dL	7~20	40	0	0	0	0	0	0
	尿酸	4.7 mg/dL	男:6.8~8.4, 女:5.0~6.8	48	0	0	0	0	0	0
	尿酸	4.7 mg/dL	男:6.8~8.4, 女:5.0~6.8	48	0	0	0	0	0	0
その他	尿酸	4.7 mg/dL	男:6.8~8.4, 女:5.0~6.8	48	0	0	0	0	0	0
	尿酸	4.7 mg/dL	男:6.8~8.4, 女:5.0~6.8	48	0	0	0	0	0	0
	尿酸	4.7 mg/dL	男:6.8~8.4, 女:5.0~6.8	48	0	0	0	0	0	0

→→→ 危険!

検査結果を一覧で!



食品カテゴリーマップに対応!

ABC判定と簡易アドバイス!

世界初!
身体状態をキャラクター分類!

ヘルスリスクアセスメント®

EWP ヘルス リスク アセスメント

Employee Wellness Program 病気になる前から遅い！ EWPは「正常値」に潜むリスクを分析します。

検査項目数 27
全検査項目の平均リスク値 23

リスク値レーダー図

No.	0		
団体名	██████████		
所属	██████████		
性別	男性	年齢	45
受診日	2016年		

あなたのヘルスリスクタイプは
肝腎要なウサギ
ヘルスリスク
Lv.26

【注意が必要な疾患】
脂肪肝
【やや注意が必要な疾患】
脂質異常症

項目別 リスク詳細	検査項目	検査値 (単位)	【参考】正常値	リスク値	0	20	40	60	80	100
身体測定	BMI	22.3	18.5~24.9	18	0	0	0	0	0	0
	SMI	19.7		0	0	0	0	0	0	0
	血圧	血圧(最高)	104	129以下	0	0	0	0	0	0
	血圧(最低)	64	84以下	0	0	0	0	0	0	0
血液一般	白血球数	5.4 100/μL	4.0~8.0	0	0	0	0	0	0	0
	赤血球数	465 100/μL	男:410~530, 女:380~480	17	0	0	0	0	0	0
	血色色素	14 g/dL	男:13~17, 女:12~15	55	0	0	0	0	0	0
	ヘマトクリット	42.6 %	男:40~49, 女:36~45	48	0	0	0	0	0	0
	血小板数	25 100/μL	13~37	10	0	0	0	0	0	0
糖代謝	空腹時 HbA1c	112 mg/dL	60~109	51	0	0	0	0	0	0
	HbA1c	5.7 %	6.2未満	0	0	0	0	0	0	0
脂質代謝	尿酸		尿酸(-1)	***	0	0	0	0	0	0
	中性脂肪	79 mg/dL	50~150	0	0	0	0	0	0	0
	HDL	77 mg/dL	35~75	0	0	0	0	0	0	0
	LDL	137 mg/dL	70~140	92	0	0	0	0	0	0
肝機能	AST(GOT)	20 IU/L	13~33	0	0	0	0	0	0	0
	ALT(GPT)	16 IU/L	男:8~42, 女:16~27	0	0	0	0	0	0	0
	γ-GTP	40 IU/L	男:0~50, 女:0~30	64	0	0	0	0	0	0
	血清アルブミン	4.8 g/dL	3.7~4.9	0	0	0	0	0	0	0
尿	尿尿素窒素	12 mg/dL	8~20	0	0	0	0	0	0	0
	クレアチニン	1 mg/dL	男:0.8~1.3, 女:0.7~1.0	0	0	0	0	0	0	0
尿酸	尿酸	-1	尿酸(-1)	0	0	0	0	0	0	0
	尿酸	1	尿酸(-1)	40	0	0	0	0	0	0
尿酸	尿酸	6.7 mg/dL	2.4~5.6	100	0	0	0	0	0	0
	尿酸	61 IU/L	60~190	0	0	0	0	0	0	0
尿酸	eGFR	65 ml/分/1.73m ²	80~100	77	0	0	0	0	0	0
	尿酸	397 IU/L	男:200~465, 女:180~355	53	0	0	0	0	0	0
その他	血中ケトン	umol/L	0~74	***	0	0	0	0	0	0
	尿酸	g/dL	6.3~7.8	***	0	0	0	0	0	0
	尿酸	IU/L	11~53	***	0	0	0	0	0	0
	尿酸	IU/L	男:50~200, 女:40~170	***	0	0	0	0	0	0
	尿酸	4.4 mEq/L	3.6~4.9	0	0	0	0	0	0	0
	尿酸	尿酸	30未満	尿酸(-1)	***	0	0	0	0	0













































血液検査結果

身体状態別に
キャラクターで分類

注意が必要な生活習慣
病や身体状態が分析

基準範囲での
健康度が一目瞭然

ヘルスリスクアセスメントの 身体状態を表すキャラクターたち

 <p>キラキラのフェニックス すばらしい！ あなたは完全な健康体！</p>	<p>医療費 リスク</p>	 <p>霜降りのウシ 筋肉負担×肥満</p>		 <p>ヨボヨボなクマ 腎臓×血管×筋肉不足が やや危険ゾーン</p>	
 <p>へろへろなトラ 筋肉不足の傾向あり</p>		 <p>歯のないサメ 血管負担×筋肉不足</p>		 <p>腰が重いライオン 腎臓×血管×肥満が やや危険ゾーン</p>	
 <p>丸のみのヘビ 肥満の傾向あり</p>		 <p>パンパンのヒツジ 血管負担×肥満</p>		 <p>満腹で動かないゾウ 肝臓×血管×筋肉不足が やや危険ゾーン</p>	
 <p>充血したリス 血管負担の傾向あり</p>		 <p>走れないウマ 腎臓負担×筋肉不足</p>		 <p>虚ろなおオカミ 肝臓×血管×肥満が やや危険ゾーン</p>	
 <p>絡まったリュウ 腎臓負担の傾向あり</p>		 <p>動けないイノシシ 腎臓負担×肥満</p>		 <p>肝腎要なウサギ 肝臓負担×腎臓負担</p>	
 <p>フォアグラのトリ 肝臓負担の傾向あり</p>		 <p>血を欲するネズミ 腎臓×血管負担</p>		 <p>血気迫るコウモリ 肝臓×腎臓×血管負担など 多くの項目が やや危険ゾーン</p>	
		 <p>酔いどれのコジカ 肝臓負担×筋肉不足</p>		 <p>医者にご相談ください 肝臓×腎臓×血管負担など 多くの項目が危険度Max</p>	
		 <p>食べ過ぎのトイプードル 肝臓負担×肥満</p>			
		 <p>メラメラなモンキー 肝臓×血管負担</p>			

キャラクターに合ったヘルスケアサービス

ヘルスリスクアセスメント 自分のキャラクターを知ること意識が変わる！

初年度

虚ろなオオカミ
肝臓負担×血管負担×肥満



注意が必要な疾患	やや注意が必要な疾患
高血圧	くも膜下出血
アルコール性肝疾患	動脈硬化
脂肪肝	肝硬変
肝炎	腎不全
尿路結石症	膵炎
痛風	
心筋梗塞	
脳梗塞	
狭心症	
虚血性心疾患	
脂質異常症	

1年後

メラメラなモンキー
肝臓負担×血管負担



肥満のリスクが低くなった！

注意が必要な疾患	やや注意が必要な疾患
高血圧	肝炎
痛風	腎不全
脂肪肝	尿路結石症
	アルコール性肝疾患
	肝硬変

リストから外れた疾患

心筋梗塞、脳梗塞、狭心症、虚血性心疾患、
脂質異常症、くも膜下出血、動脈硬化、
腎不全、膵炎

注意が必要な疾患の数が減った！